

**三菱地所と立命館大学が  
「戦略的 DX パートナーシップ協定」を締結  
～人とロボットの協業実現を目指した実証実験をキャンパスで展開～**

三菱地所株式会社(以下、三菱地所)と学校法人立命館(以下、立命館)は2019年3月28日、人とロボットが協働する Society5.0\*時代の施設運営管理モデルの構築に向けた実証実験や情報発信等を行うことを目的とした「戦略的 DX(デジタルトランスフォーメーション) パートナーシップ協定」を締結いたしました。

人手不足、少子高齢社会、地方の過疎化、障がい者雇用、働き方改革などの社会的な課題が叫ばれる中、最先端テクノロジーを積極的に活用した次世代型の施設運用管理モデルの構築が求められています。

三菱地所は、「ロボットを活用した豊かな街づくりに向けた取り組み」を積極的に推進し、少子高齢化が進む将来に向けて、清掃、警備、運搬などの業務における人手不足を自律移動ロボット等の導入によって課題解決すべく様々な施策を進めています。

立命館は、「人類社会における様々な課題に挑む学園」を目指し、テクノロジーの飛躍的な改革に伴う社会のあるべき姿について積極的に社会に提起し、教育研究機関としてさまざまな取り組みを進めています。

この連携を機に、学校施設の管理効率化の実現と学校という新領域に新しい価値を提供することで、キャンパスを『小さな社会』と位置付けた立命館フィールドから、三菱地所とともに未来社会の創造に向けた最先端テクノロジーの活用に係る情報発信および人とロボットの協業実現に関する教育・研究および実用化のいっそうの活性化・展開につなげていくことを目指します。

**【協定の主な内容】**

- (1) 清掃ロボット、警備ロボット、運搬ロボット等を含めた最先端テクノロジーの最適な活用方法等について調査・検証し、実証実験および導入に向けた検討を行う。
- (2) 施設運用管理に関する効率化・高度化に取り組む。
- (3) 人とロボットの協業実現を前提とした社会実装のための課題解決を行う。



(左から) 仲谷総長、吉田社長

**■吉田 淳一 三菱地所株式会社執行役社長のコメント**

三菱地所は丸の内エリアを先端技術の実証フィールドと位置付けこれまで様々な取り組みを行ってきた。今回の連携によって、テクノロジーの活用による次世代型の施設管理モデルの構築を更に推し進め、立命館とともに学校という新領域において新しい価値を提供していきたい。

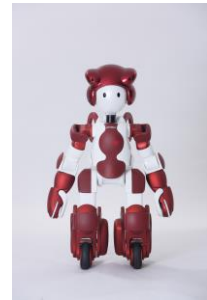
**■仲谷 善雄 学校法人立命館総長のコメント**

立命館は学園ビジョン R2030「挑戦をもっと自由に」の政策目標の一つに「未来社会を描くキャンパス創造」を掲げており、三菱地所が推進されている DX とまさに合致するものです。あらゆる人が幸せになる社会を目指し、「誰一人取り残さない、人とロボットが共存する持続可能な社会」に向けた課題解決を三菱地所とともに挑戦してまいります。

## 【具体的な取り組み内容】

### (1) 立命館大学入学式でコミュニケーションロボット「EMIEW3」の実証実験

コミュニケーションロボット「EMIEW3」と新生とのコミュニケーションを図る実証実験を、2019年4月2日の立命館大学入学式にて行います。将来的には「EMIEW3」の多言語での音声対話機能と自律走行機能を活用した施設案内等で運用していきたいと考えています。



コミュニケーションロボット「EMIEW3」

### (2) アメリカより日本初上陸の運搬ロボット「Marble」の実証実験

屋内外で自律走行可能な、アメリカから日本初上陸する運搬ロボット「Marble」の実証実験を、立命館大学びわこ・くさつキャンパス(滋賀県)では2019年5月7日～5月8日(予定)、東京では5月15日～17日(予定)に行います。将来的にはキャンパスに導入し、運搬機能に加え、教育研究活動と連携した活用も検討しています。



運搬ロボット「Marble」

### (3) 清掃・警備・運搬ロボット等の実証実験

三菱地所がオフィスビル等で実証実験を経て導入を決定した清掃ロボット「Whiz」、警備ロボット「SQ-2」、運搬ロボット「EffiBOT」等に関して、2019年5月～7月(予定)に立命館大学キャンパスにて実証実験を行います。将来的にはロボットを活用したキャンパスの管理、運営の効率化・高度化につなげていきたいと考えています。



清掃ロボット「Whiz」



警備ロボット「SQ-2」



運搬ロボット「EffiBOT」

### (4) パーソナルモビリティ「WHILL 自動運転システム」の実証実験

三菱地所が運営する、東京・大手町にある大手町ビル内のビジネス・イノベーション・スペース「Inspired.Lab」にて実証実験を行っているパーソナルモビリティ「WHILL 自動運転システム」の実証実験を、立命館大学キャンパス内で実施予定です。



パーソナルモビリティ「WHILL 自動運転システム」

#### \* Society5.0とは

サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、日本が目指すべき未来の姿として提唱された社会(Society)のことであり、狩猟社会(Society1.0)、農耕社会(Society2.0)、工業社会(Society3.0)、情報社会(Society4.0)に続く、新たな社会を指す。

